

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(本格型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR214E
採 択 年 度	: 2021 年度
分 野	: 第 4 分野
研究開発課題名	: プラズママイクロミストによるウイルス等の空中浮遊物質の不活化についての研究開発
プロジェクトリーダー	: ナルックスホールディングス株式会社
所 属 機 関	
研 究 責 任 者	: 金子 俊郎(東北大学)

評価結果の総合所見

当初の目標を達成はしているが、実用化に向けては課題が残った。但し、今後の取り組み次第ではイノベーション創出の可能性はある。

新型コロナウイルス感染症拡大に合わせたウイルスの不活化や臭い物質の除去を目指した装置開発研究である。薬剤の選択やその効果は明らかにされたが、検証実験における条件設定や方法論にはさらなる検討が必要と思われる。空間でのコロナウイルスの不活化を目的とした技術開発であるが、その可能性を示す具体的かつ重要な部分のデータが取得できていない。

本研究成果の特徴を生かした実用化技術として、展示会では関心を抱く企業もあるとのこと、ニーズに沿ったデータの取得と蓄積を期待したい。

以上